Autodesk® Inventor® 2009 Subscription Bonus Pack

Autodesk Subscription プログラムにご契約いただくと、設計ツールを最大限に活用し、競合他社に勝ち抜くことができます。Inventor Subscription のお客様は、Inventor に対応したこの Subscription Bonus Pack を追加することにより、図面、パーツ、アセンブリの各環境でより高い生産性の向上を実現できます。

お客様によるソフトウェアへの投資を最適化

Autodesk Inventor 2009 Subscription Bonus Pack の生産性向上ツールの多くは、Inventor Subscription のお客様から直接ご提案いただいたものです。

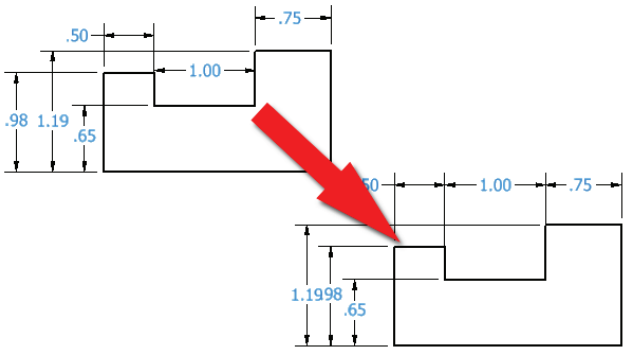
Autodesk® Subscription は、簡素化されたソフトウェア管理、容易な予算管理、e-Learning (イーラーニング)、Web サポートといったメリットを利用できるだけでなく、最新の設計テクノロジを活用できる最適な手段です。

お客様の設計ツールを最新状態に保ち、ソフトウェアへの投資を最大限に生かせるように、Autodesk Inventor 2009 Subscription Bonus Pack を是非ご利用ください。

—Inventor チーム一同

図面マネージャの生産性

Inventor Subscription Bonus Pack では、寸法の配列が一層容易になりました。新機能[寸法を整列]により数回クリックするだけで寸法をすばやく簡単に整えることができます。この機能を寸法選択フィルタと併用すれば、Inventor の図面環境からモデル寸法、オーバーライド寸法、または AutoCAD 寸法をすべてフィルタリングしながら選択できます。

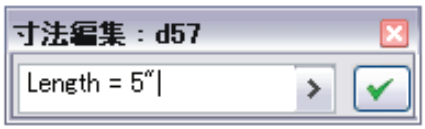


さらにこれまで Inventor ユーザは、図面ビューから右クリック メニューを利用して、パーツやアセンブリを開くことができましたが、Subscription Bonus Pack ではさらに、パーツやアセンブリから対応する図面を直接開くことができます。

図面環境から利用できるその他の強力なツールには、図面パラメータの更新、配置の際のバルーン スナップ & 位置合わせツール、ジオメトリ投影の機能拡張、配置時の寸法編集機能などがあります。

パーツ モデリングの生産性向上

パーツ モデリング環境にも、いくつかの生産性向上ツールが導入されました。パラメータは、[パラメータ]ダイアログではなく[寸法編集]ダイアログから直接作成できるようになりました。このため、ユーザはスケッチ環境から離れずに設計要素をすばやく設定できます。



iFeature には、配置時に法線方向を指定できる機能や、iPart から iFeature をすばやく作成できる機能など、生産性を向上するいくつかの機能が追加されました。たとえば、テーブル駆動 iPart を作成し、iFeature として使用したい場合には、元の iPart テーブル データを含む iFeature としてそのパーツを保存できます。

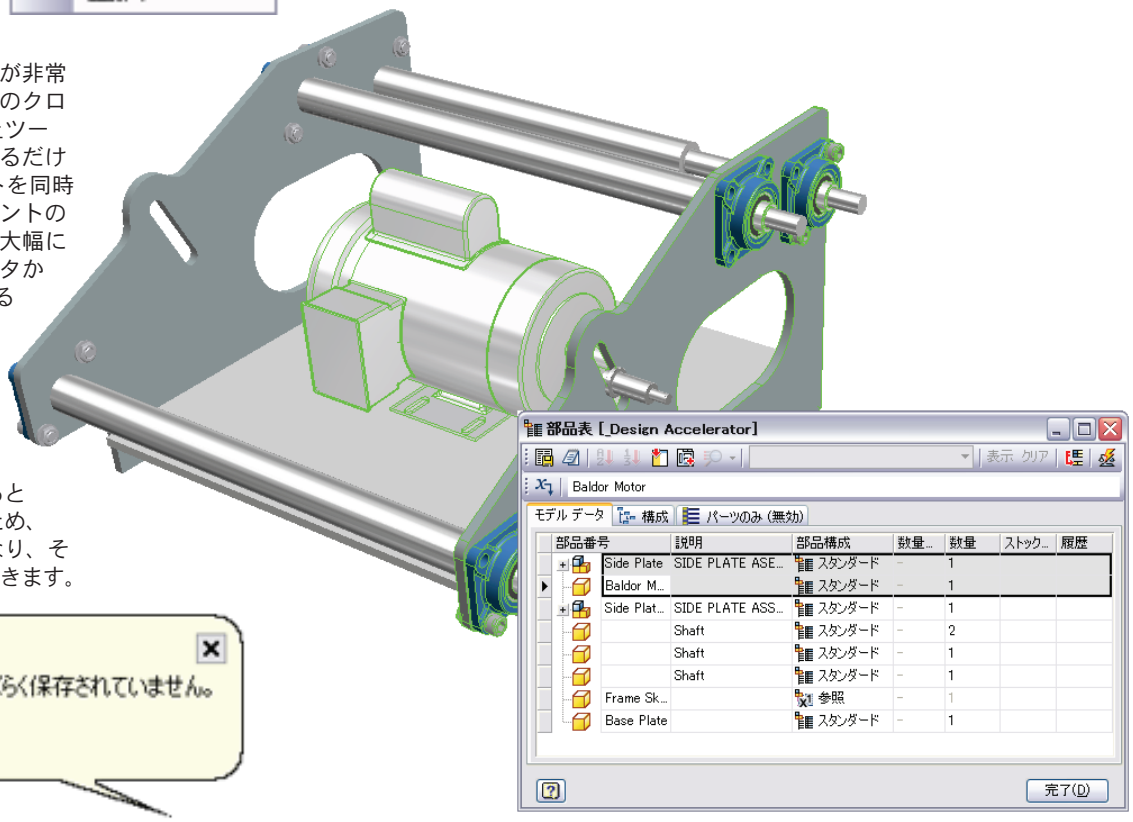
その他の機能拡張としては、ダイアログを回転したりサイズ変更するための[適用]ボタンの追加などがあります。また、選択機能の簡略化により、ロフト フィーチャの使用が一層容易かつ効率的になりました。右クリックで表示される右クリック メニューから、プロファイル断面、レール、および中心線の選択を切り替えられます。標準の[ロフト]ダイアログから複数選択を行う必要がないため、従来よりもすばやくロフトを作成できます。

Autodesk® Inventor® 2009 Subscription Bonus Pack

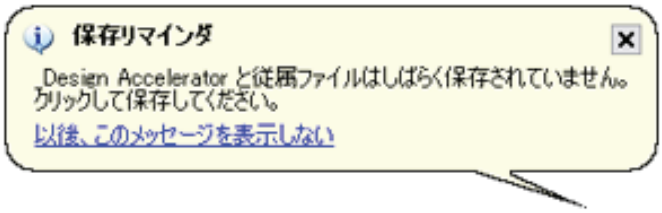
アセンブリ設計の生産性向上

部品表エディタでは、Microsoft Office Excel のような操作感で編集できるようになりました。[Shift]キーを使用して隣接した部品リストを一括選択したり、[Ctrl]キーを使用して隣接していない部品を複数選択することができます。コピー/貼り付け、大文字と小文字の区別、検索、置換などのツールが追加されたため、部品表での編集作業時間を大幅に短縮できます。

また、部品表エディタからのパーツ指定が非常に簡単になりました。部品表エディタでのクロス ハイライトといった新しい生産性向上ツールにより、部品表エディタをクリックするだけで、3D モデルで対応するコンポーネントを同時に確認できます。このため、コンポーネントの特定や、そのプロパティに必要な編集が大幅に簡素化されました。さらに部品表エディタからコンポーネントを直接開くこともできるため、必要なコンポーネントを特定し、開いて修正することができます。



さらに新たに追加された自動保存機能により、指定した間隔の時間ごとにファイルの保存を促すことができるようになりました。ドキュメントの保存時間になると通知用の吹き出しが表示されます。このため、ドキュメントを完全に管理できるようになり、その一方で保存のタイミングを知ることもできます。



まとめ

図面マネージャ、パーツ モデリング、アセンブリの各環境に追加された生産性向上ツールの多くは、Inventor Subscription のお客様から直接ご提案いただいたものです。Autodesk Inventor 2009 Subscription Bonus Pack のこれらの新しい生産性向上ツールは、お客様にきっとご満足いただけることと思います。

Autodesk、AutoCAD、Autodesk Inventor、および Inventor は、米国 Autodesk, Inc. またはその子会社あるいは関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他すべてのブランド名、製品名または商標は、個々の権利所有者に帰属します。
オートデスクは、弊社の既存または新規の製品およびサービスについて、計画済みの開発や将来の開発への取り組みに関する声明を発表することがあります。これらの声明は、将来の製品、サービス、または機能の提供を約束したり保証するものではなく、変更される可能性のある弊社の現在の計画を反映したものに過ぎません。製品購入の際には、これらの声明に基づいて判断を下さないでください。オートデスクは、こうした将来に関する声明を、それが発表された日付以後に発生する事象や、その日付以後に存在または変化する状況に合わせて更新する義務を負いません。オートデスクは、本書の文字や図表の誤りに関して一切の責任を負わないものとします。
© 2008 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk®